

民主
PRESS MINSHU

号外 静岡 3 区版

平成 25年 6月 25日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

～ 協同・連帯 共生・安心 ～

前衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部



小山のぶひろ 氏に訊く

○榛葉賀津也議員を推す!

民主党本部は、榛葉賀津也議員を参議院選挙第一次公認候補として発表しています。

榛葉議員は菊川市生まれで、中東遠地区がまさに地元。防衛副大臣、外務副大臣などを歴任し、その外交手腕は海外からも高く評価されています。一方で、「お茶振興議員連盟」の会長をつとめ、「お茶振興法」の成立、お茶の凍霜害や原発被害補償の問題解決に活躍されたほか、自動車関係諸税の見直しにも尽力しました。まさに「静岡の榛葉」であると同時に「日本の榛葉」、「世界の榛葉」であります。

川勝知事からの信頼も厚い一方で、後輩思いの温かいお人柄は、多くの若手議員や候補者から慕われています。出身地域の近い私は、二回の衆院選の際に、特に東遠地区において榛葉議員のみならず、榛葉議員をささえる後援会の皆様にも、言い尽くせないほどのご支援を賜りました。

「税金を使う側ではなく払う側の立場に立つて一円の税金も無駄にしない政治にしたい」と常々語り、「常に初陣」と初心を忘れない榛葉議員は、人格・識見ともに、現在の国政にどうしても必要な人物です。榛葉賀津也議員に温かいご声援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○静岡県知事選挙 川勝平太さんが再選!

榛葉賀津也 参議院議員を推す!

言葉「選挙が終わったらノーサイド。オールサイド。他の候補の政策・主張も県政に活かしていきたい」が印象的でした。多数決で決めることは大事です。しかしそのうえで、少数意見を出来る限り取り入れ、「多数のコンセンサス」を「全体のコンセンサス」に近づけることも政治の役割だと思います。企業内統治とは異なるところだと思います。国会でも、党内・組織内運営でも、コンセンサスを形成する調和の政治が必要と、昨年の衆院選でも訴えてきました。その意味で川勝知事のこの姿勢に期待したいと思えます。知事選での多くの皆様のご声援に心より御礼申し上げます。



磐田駅にて榛葉賀津也議員と

民主

PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

平成25年6月25日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

携帯メールマガジン配信中

小山のぶひろの日本や郷土への想い、政治への熱い想い、活動報告などを、メールに託してお届けいたします。

右のQRコードよりご登録いただくか、下記のメールアドレス宛に直接、空メールを送信いただいても登録できます。

※既にご登録の方は操作不要です。

n-koyama@67827.r.at-ml.jp



小山展弘氏 初の出版

11/30 発売

**脱占領時代の
対中政策**

戦後の日本は中国と
どう向き合ったか

健全なナショナリズムの育成、
健全な国民意識の醸成が必要。

1950年代の戦後政治家の外交政策、姿勢は、現代の我々に多くの示唆を与える。一党独裁という特殊な状況、冷戦構造という国際環境の中で利害を冷静に検討しつつも、必死に日本の自立を求め、日本の利益の最大化を求めた。1950年代の日本のナショナリズムは、アメリカと同じアジア政策を行うことに満足できなかった。——本文より

小山展弘著

小山のぶひろ

志学社

がんばれ! コヤマくん物語

生まれたときから政治家!?

1975年掛川市(旧大須賀町)に生まれたコヤマくん

1歳のとき、ロッキード事件を見て「政治を立て直したい!」と言ったんだ そうな...

修学旅行で訪れた国会議事堂にひとめぼれ

「政治家」になりたい!と早大へ進学 政友会で日本政治を研究

JAバンクでの5年間

政治への思いは高まるばかり 「民主党を応援する学生の会」を立ち上げました

より深く政治を学ぶため、早大大学院へ

卒業後、農林水産省の現場を知るために、JAバンクに入庫し、山口・和歌山支所に勤務しました

日本がかかえる問題を目の当たりにし、政治家になることを決意しました

いよいよ政治の道へ!

JAバンクを退職し、民主党静岡第3区支部長に就任しました

2009年、衆議院議員として初当選 初選の国会議事堂と再会を果たします

様々な委員会に所属して 精力的に活動する日々

2011年「お茶振興法」の名づけ親となる

お茶振興法、そしてこれからも!

「報徳の精神」を忘れずに 分度 推薦 動機

郷土の方々にご指導いただきながら

「協同・共生」の社会の表現に向けて

これからもコヤマくんの挑戦はつづきます!

国会議員になっても変わらないねえ...